

1. 短期展望 (p. 1)

米大統領選はブッシュが2%前後の差をつけて再選される公算大。ブッシュ勝利でイラク情勢は安定、国際協調路線をとる。経済政策は財政再建に配慮、ドル安に歯止めをかける。ケリー勝利の場合、イラクからの米軍撤兵で中東大混乱へ。イラン空爆、パレスチナ情勢も混沌。経済政策は中共に甘く、日本に厳しいものに。両者とも、対北朝鮮政策では強硬策をとる可能性高い。

2. 展望①国債政策の破綻とその後 (p. 3)

① [ハードランディング・シナリオの浮上]

財務省幹部は敢えて財政破綻を起こし、大増税を含むドラスティックな財政再建策実施を国民に迫るハードランディングを模索。事態は大東亜戦争末期に近い惨状で、個人国債を買わないことで資産防衛を図るしかない。

② [貧富の格差は広がる]

財政再建の為に、教育・医療・福祉等の行政サービスへの支出が大幅削減され、大増税も行われ、地方自治体への補助金・交付金も税源移譲の名のもとに削減。日本社会の1億総中流幻想は崩壊し、貧富の差が広がる社会に変貌。

③ [米ドルも弱い]

短中期的に円高＝ドル安が基本トレンド。日本の財政破綻が表面化した時、このトレンドは逆転。比較的といえばユーロとゴールドが最も安定。ドルは長期的には石油とゴールドとのリンクを強めて復活する可能性あり。

3. 展望②国内情勢 (p.7)

新潟中越地震の発生で、田中＝竹下型公共建設事業の見直しへ。従来旧内務省利権だったプロ野球界の混乱、堤義明西武鉄道会長の辞任は皇室を含む既存秩序の再編成と外資、新興勢力の台頭を意味する。ロシア革命や西欧個人主義の影響を受けた大正時代に似た世相である平成現象は、貧富の格差の大きい二極化社会となり、食えない大衆の激増で社会騒乱が発生。治安維持法や特高警察の復活で社会統制を図る事態へ。

4. 展望③プーチンは何と戦っているのか？ - 前編 -

(p.11)

北オセチア学校占拠事件の黒幕は、ロンドンコンネクション。プーチンはテレビ演説や西側記者との会見でこれらを暴露する発言。チェチェン＝ベレゾフスキー＝マードック＝ネオコンをつなぐ英米ユダヤネットワークとプーチンの最終戦が進行中。

TEL 03-3650-1475 FAX 03-3650-7873